随意契約等見直し計画

平成 22 年 4 月 独立行政法人 港湾空港技術研究所

1. 随意契約等の見直し計画

(1)随意契約の見直し

平成20年度において、締結した随意契約等について点検・見直しを行い、以下のとおり、新たな随意契約等の見直し計画を策定する。

今後、本計画に基づき、真にやむを得ないものを除き、速やかに 一般競争入札等に移行することとした。

		平成20年度実績		見直し後	
		件数	金額(千円)	件数	金額(千円)
競争性のある契約		(93%)	(94%)	(95%)	(94%)
		157	1,314,979	1 6 0	1,320,844
	競争入札	(89%)	(73%)	(93%)	(93%)
		1 5 1	1,026,158	1 5 7	1,316,183
	企画競争、公募	(4%)	(21%)	(2%)	(1%)
		6	288,821	3	4,661
競争性のない随意契約		(7%)	(6%)	(5%)	(6%)
况于	住のない過息失約	1 2	89,050	9	83,185
	合 計	(100%)	(100%)	(100%)	(100%)
		1 6 9	1,404,029	1 6 9	1,404,029

⁽注1)「見直し後」は今回の見直し計画を平成20年度実績に仮に適用した場合 の数値。

- (注2)見直し後の随意契約は、真にやむを得ないもの。
- (注3)金額は、それぞれ四捨五入しているため合計が一致しない場合がある。

(2)一者応札・一者応募の見直し

平成20年度において、競争性のある契約のうち一者応札・一者 応募となった契約について点検・見直しを行い、以下のとおり、契 約の条件、契約手続き等を見直す必要があるものが見受けられた。

今後の調達については、競争性のない随意契約の削減に加え、これら結果に留意、改善しつつ、契約手続きを進めることにより、一層の競争性の確保に努める。

(平成20年度実績)

	実績	件数	金額(千円)
競争性のある契約		1 5 7	1,314,979
	うち一者応札・一者応募	(68%) 1 0 7	(65%) 8 5 8 , 2 8 0

(注)上段(%)は競争性のある契約に対する割合を示す。

(一者応札・一者応募案件の見直し状況)

	見直し方法等	件数	金額(千円)
契約方式を変更せず、条件等の見直しを実施(注1)		(95%) 1 0 2	(67%) 5 7 1 , 1 0 6
	仕様書の変更		
	参加条件の変更	4 5	3 2 2 , 2 4 5
	公告期間の見直し	102	571,106
	その他		
契約方式の見直し		(5%) 5	(33%) 2 8 7 , 1 7 5
その他の見直し		(%)	(%)
点検の結果、指摘	事項がなかったもの	(%)	(%)

- (注1)内訳については、重複して見直しの可能性があるため一致しない場合があ る。
- (注2)金額は、それぞれ四捨五入しているため合計が一致しない場合がある。
- (注3)上段(%)は平成20年度の一者応札・一者応募となった案件に対する割合を示す。

- 2. 随意契約等見直し計画の達成へ向けた具体的取り組み
- (1)契約監視委員会等による定期的な契約の点検の実施 契約監視委員会等により、競争性のない随意契約、一者応札・ 一者応募になった案件を中心に点検を実施する。

(2)競争性のない随意契約の見直し

必要とするサービスを提供できる者が唯一と考えられるものについても公募を行い、他に契約を希望する者の有無を確認する。

電話料(防災用携帯)については、次期更新時において一般競争入札に移行する。

(3) 一者応札・一者応募の見直し

公告期間の確保

公告日翌日から競争参加資格を証明する書面の提出期限まで を、土、日、祝日を除いて実質的に10日以上を確保する。

参加要件の緩和

- ア 参加要件に係る業務実績の条件については原則的に付さないこととする。
- イ 参加要件に係る業務実績の条件を付す必要がある場合においては、過去の業務実績の対象期間を、「過去5年間」から「過去15年間」へ緩和する。

契約方式の見直し

企画競争については全て一般競争入札に移行する。